

Mbuka (1975-)  
ムブカ

義理の父S.Mussaに師事、ティンガティンガアーティストになる。動物画が得意で、一頭一頭の動物が、画面から抜け出して語りかけてくるような動きのある絵を描く。

来日歴 2011、2012、2013、2014



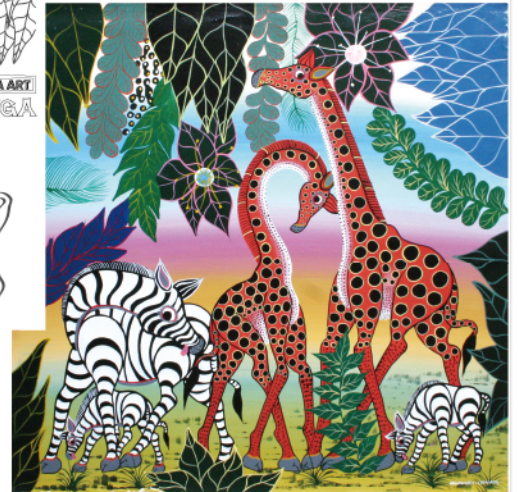
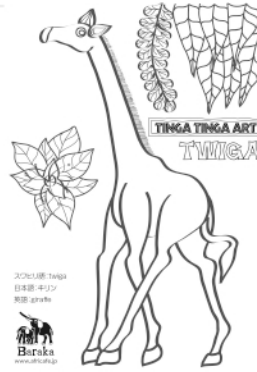
「花の樹に憩うヒョウの親子」



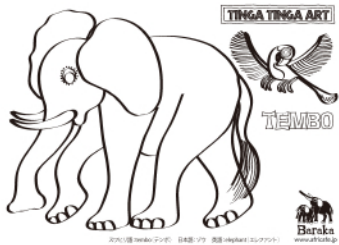
Mwamede (1979-)  
ムワメディ

父R.Chiwayaの影響で絵筆を持ち、ティンガティンガアートの世界へ。作品ごとに表情や描き方が変わる動物画が人気。美しい色遣いで、サバンナの豊かな植生を、まるでメリーゴーランドのような楽園を描き出す。

来日歴 2014、2015



「楽園の動物たち～キリンとシマウマの親子」



「ゾウの親子とムナジロガラス」



Lukas (1987-)  
ルーカス

学費が払えず小学校2年で中退。13歳で祖父 Saidilに弟子入り。作品の隅々まで細かく緻密に描く丁寧さは群を抜いている。ティンガティンガ村の将来を担うと期待されている。

来日歴 2019

